

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2016年(平成28年)6月5日号 No.1695

目次

■ウラジオストク市長逮捕の衝撃	齋藤 大輔	1
■モスクワほっとニュース		5
古き良きモスクワの散策(9): クリミア堤防/5		
■統計速報		6
2016年1~4月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績/6		
2016年1~4月の日ロ貿易/7		

ウラジオストク市長逮捕の衝撃

ロシアNIS経済研究所 次長

齋藤 大輔

はじめに

プーチン大統領がアジア太平洋への玄関口として開発に力を入れる、ロシア極東・沿海地方のウラジオストク市で、イーゴリ・プシカリョフ市長が捜査機関に拘束された。今回の出来事を簡単にまとめてみた。

また汚職で逮捕

ウラジオストク市のイーゴリ・プシカリョフ市長(写真)は6月1日、捜査機関に拘束された。連邦保安局と捜査委員会からなる合同捜査チームはこの日、市長の執務室や自宅など関係先を家宅捜索し、書類等を押収した。地元メディアによると、市発注の公共事業を巡り、市長の親族らが役員を務めるファミリー企業に割高な金額で発注した疑いがあるとしている。ほかにも市内の道路を建設・管理する「ウラジオストク道路公社」のアンドレイ・ルシニコフ社長が拘束された。プシカリョフ市長が強い影響力をもつスパスクダリニー市の市長に対する捜査も始まった。

一連の捜査は連邦中央が直接指揮しているとの情報もある。コメルサント紙は関係者の話として、「地元でなくモスクワの治安機関が捜査にあたっている」と報じている。市長らは取り調べのためモスクワに連行された。起訴できるか捜査を進めるとみられる。

